

会議録

会議の名称	令和6年度 第2回西東京市地域公共交通会議
開催日時	令和6年7月3日（水）午前10時00分から午前11時00分まで
開催場所	西東京市役所 防災・保谷保健福祉総合センター6階講座室2
出席者	【委員】古厩委員（会長：まちづくり部長）、関根委員、土屋委員、町田委員、富樫委員、佐藤委員、染谷委員（代理出席）、滝沢委員、小山委員、犬竹委員、大林委員、岩澤委員、下田委員
議題	西東京市地域公共交通計画の施策について (1) 施策3 公共交通空白地域における需要と状況に応じた移動手段導入の検討
報告	なし
その他	(1) 令和6年度 西東京市地域公共交通会議スケジュール（予定） (2) 各委員より
会議資料の名称	《配布資料》 資料1 お出かけに関するアンケート調査（案） 資料2 地域周知文書（案） 資料3 移動支援実証実験の課題整理 資料4 令和6年度西東京市地域公共交通会議スケジュール（予定）
記録方法	☐ 全文記録 ☒ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☐ 会議内容の要点記録
会議内容	
1 開 会 ○会 長： 会議開催にあたり、西東京市地域公共交通会議設置要綱第6第2項に規定する定足数、委員の過半数を満たしていることを報告する。 議事に先立ち、会議の公開についてお諮りする。当会議は、西東京市地域公共交通会議設置要綱第7の規定により、会議録も含め、原則公開となっている。公開でよろしいか。 ～全員賛成～ ○会 長： それでは、本日の会議については公開とする。 2 議 事 協議事項 西東京市地域公共交通計画の施策について ○会 長： まずは議題「施策3 公共交通空白地域における需要と状況に応じた移動手段導入の検討」について事務局より説明を求める。 ○事務局： 資料1、2の説明。 ○会 長： 事務局からの説明について、質問、意見があれば発言願いたい。 ○委 員： アンケートの抜けている視点の一つとして、行かなくてはいけない動機なのか、行けたら行ってみたい動機なのか、外出動機が分からないと集計結果の分析が難しくなるのではないか。また、例えば今は自転車で行くと回答している人が、5年経ったときもその手段で大丈夫かというのが抜け	

ている。将来不安の視点がないと、新しい交通手段があっても、5年後は要るけれど今は要らないになってしまうと思うので工夫したほうがよい。

○事務局：　今回は基本的に平成29年度のアンケート調査をベースにして、そこから状況の変化を把握することを目的としており、平成29年度と概ね同じような設計としている。今回は主な外出目的別に聞いているが、今回は行先別に回答してもらい、その中で目的が付随していくという質問の仕方に変更したため、前回より答えやすくしたものと考えている。

また、将来不安については、設問として反映をさせていない。実証実験をやる時に少しずつ慣れて使ってもらう中で考えていただき、ルートや時間について意見をいただく中で反映できればと考えている。

○委　員：　平成29年度のアンケートとの比較だけではなく、項目を追加すれば1回のアンケートで以前の実証実験後のアンケートと比較できると考えた。アンケート調査票の下半分の空白があれば入れ込めるのではないかな。

あともう1つポイントとしては、これが福祉施策なのか、交通政策なのかという視点である。今回は福祉施策に傾いて年齢制限等があった。利用者の制限になり得る項目に関する設問は、入れておいた方がよいかなと考える。

○事務局：　今回は、公共交通として福祉施策でなく利用制限もせず登録制としない形を現状考えているため、それらの質問項目については、入れない設計をしている。

○委　員：　西東京市全体を見たときに、この南部地域が公共交通空白地域ということだったが、この地域の人には路線バスなどを利用して、簡単にJR中央線の駅に出ることができるため、本当に公共交通空白地域かどうかというのが疑問である。また、地域の人にはバスのようなものを期待しているのかどうかということも知りたい。

問2（1）、（8）の選択肢の中に、西武線の駅だけではなく、武蔵境駅や三鷹駅、吉祥寺駅を入れてはどうか。

○事務局：　問2（1）、（8）において、西武線以外の駅については、JR中央線の駅をご利用ということであれば、5番を選択してもらおうと考えている。

○委　員：　具体的に選択できた方がアンケートは答えやすいのではないかな。

○事務局：　集計上、差し支えなければ入れる方向で検討させていただく。どの駅まで含めるかは、前回のアンケート結果を踏まえ検討させていただく。

○会　長：　地域公共交通計画のなかで示したものも踏まえ答えやすいように工夫をして検討すること。

○委　員：　アンケートの規模や対象地域の設定は、前回と同じか。

- 事務局： 前回の配布数は概ね2000人で、今回も規模感は同程度となる。また、地域設定は同じである。
- 委員： 前回の調査と何を比較して、何を把握しようとしているのか、その辺りが分かりにくい。
- 事務局： 前は、最初に買い物や通院など目的別の移動に関する質問となっている。また、移動制約者支援を念頭に個人の特性についても大きな質問の項目となっている。今回は、具体的な運行内容の検討材料として、主な行き先別の質問という形式で移動実態を把握するよう設計した。
- 委員： この地域には路線バスが走っており、例えば地域図の5番、1番、2番、13番、14番の地域は頻繁にはなバスや路線バスが走っている。アンケート結果でそちらの需要の方が高かった場合、それでも実験は行うのか。
- 事務局： 具体的に地域図の番号でお話をいただいたが、地域公共交通計画の中の実際の公共交通空白地域に該当してくる部分はもう少し狭いエリアで、4番、6番、7番、8番、10番、11番、12番の辺りとなる。この地域の空白を埋めるというところでアンケートを行い、ニーズや変化を捉えていくなかで実証実験を行いたいと考えている。
- 会長： アンケートの結果から実験のスキームも含めて交通会議で議論していくこととなる。公共交通空白地域の設定は令和4年度に行った地域公共交通計画策定に向けたアンケート結果を基に、バス停や駅からの距離で設定しているが、本当の実態がどうかというところは最終的に実験をすることでつかめる。その前提がアンケートで捉えられるという趣旨だろう。
- 委員： 前回のアンケート調査の回収率はどのくらいであったか。また、前回よりも回収率を高めるために、工夫はするのか。
- 事務局： 平成29年度の時の回収率については3割程度であり、今回はできればそれ以上回収したいと考えている。資料2を8月1日号市報に折り込んで周知を行い、回収率を上げていきたいと考えている。
- 委員： お出かけに関するアンケート調査というタイトルはあるが、このアンケートを実施する目的を、例えば、用紙の一番最初のところに記載すると、アンケートに答える目的が、市民の方にも伝わると思うため、検討いただきたい。
- もう一つ、2ページ目問2の、「あなたのお出かけについて教えてください」という項目があり、これ以下がお出かけについて答える内容かと思うが、1ページ目問1(3)以降のところについても、お出かけについて聞いているような形にも見えるので、設問の設定や位置など、再考してはどうか。
- 地域図の南町3丁目の区域に、9番、10番、11番、13番に囲われた空白のエリアがあるが、ここのエリアの設定というのはそれでよろしいのかと

いうのを伺いたい。

また、1 ページ目問 1 (4) の設問で、「外出時にひとりで休まずに歩ける距離はどの程度ですか」について、「ひとりで」という記載の意図を教えてください。日本語で見ると気になったところなので、教えていただきたい。

○事務局： 南町 3 丁目のご指摘頂いた部分については、公共交通空白地域となっておらず、前回もここは対象地域に入っていなかったこともあり、アンケートの対象地域としては含まれていないが、お出かけ先の回答の「ご自宅周辺や近隣」として設定しているため、破線で囲まれている。

○委 員： 公共交通空白地域の考え方とお出かけの地域の考え方の整合が図れていればよい。

○事務局： 「ひとりで休まず歩ける」という部分については、特に介護・介助を受けずにひとりで動けるということを伺うという項目で設定している。

○委 員： 「ひとりで」という記載について、「ひとりで休まず」になのか、「休まずにひとりで歩ける」なのか、あえて「ひとりで」という必要性があるのかどうか、個人に問うアンケートに必要な言葉なのか、気になった。

○会 長： 一点、委員からご意見があったことについて、前回の実証実験の検討プロセスにあった、ご自身の将来の立ち位置と、今後求められる移動手段とをうまく継ぎ合わせるのが難しかったというところは、課題と認識している。5 年、10 年経ったとき、どういった公共交通へのニーズがあるかというのは、あくまでも主観的なイメージであり、実際そのときにどういう公共交通環境になっているかというのもまた、これから見えてくるところであるから、それをアンケートの中で聞くのは難しいと考える。

事務局は、今回の調査結果について年代のクロス集計等を行い、どれだけ深く広げるかというところは、ご意見を踏まえて整理できるように意識をして検討すること。

○委 員： 今のクロス集計について、例えば 4 人家族では 4 人の行動形態が全部違うと思われる。家族別にアンケート用紙をコピーして回答してもらえば、クロス集計の時に 4 人行動パターンがあるというのが分かる。そうすると、1 世帯 1 つではなくて、家族分を出してもよい、というような形で送るとよいかもしれない。

○事務局： アンケート調査については、この対象地域内の方に、無作為抽出で 2,000 名を抽出する予定であり、基本的には宛名の方にお送りして、その方のご回答をいただくということになる。

○委 員： 集計に入れられないにしても、参考としてもらっておけばよいのではないか。原則としては宛名の方であるが、家族で違うような移動が出る場合、コピー用紙から回答してもらい、本集計には反映されないが、同じ数

で動きが違うという形で、参考とするのはいかがか。

○会 長： 対象地域の人口を考えれば、設計上、無作為で2000人を選べば、各年代に対して、有効な数の集計結果を得ることができると考える。例えば、お子様が10代だとすれば、別の無作為の10代の方との意見が集合されると、同じ傾向ということはあるかと考える。ご提案のように、その家族の中での違いというのは、実際回答いただいても、その集計はボリュームとして現実的には難しいとご理解いただければと思う。

各委員からいただいたご意見の反映については、私と副会長に確認、調整をご一任いただきたいと考えているがよろしいか。

～全員賛成～

それでは、事務局に説明の続きを求める。

○事務局： 資料3の説明。

○会 長： 事務局からの説明について、質問、意見があれば発言願いたい。

○委 員： 課題解決に向けた検討の中で、おそらく運行の担い手はタクシー会社などの交通事業者かと思うが、まず①の曜日を限定せず長い時間の運行を目指すという部分については、運行事業者の運転士不足の状況との兼ね合いになるかと思う。

また、⑤の利用対象者を限定しないという部分については、前回実証実験では路線バスやタクシーの運行にも一定程度配慮したうえで行ったかと思うので、今回についても意見として挙げておきたい。

この地域のいろいろな事情も分かるが、なかなか道がなく、車両のサイズもワンボックスの小型タイプでないと走れない部分がある。前回の実証実験は、タクシーのセダン型で行ったが、今度対象者を限定しなくなると輸送量が上がり、セダン型では対応できないだろう。

先ほどアンケートの年齢のこともあったが、若い方は自転車に乗る方がすごく多いので、全く必要ないだろう。先ほど挙げた南町3丁目の周辺は、路線バスのバス停が片側にあるが、武蔵境駅から田無駅方面の利用であっても、田無駅まで行って、乗り換えて南町3丁目まで1つ戻るような利用もあり、また、南側の地域では東伏見駅に行くはなバスがあり、青梅街道に路線バスも走っている。

路線バスが便利なところに対して、真ん中付近の公共交通空白地域で、さらに高齢者になると移動手段がないという方がたくさんいるため、その辺りの対象者がうまく使える公共交通について、様々な手法から検討してほしい。

○会 長： 運行事業者あつてのものであり、また地域の交通基盤についての意識も必要であるため、その辺りも踏まえて検討されたい。

アンケートが終わった後に、最初にスキームを考えるとこれが一つの出発点になるかと思う。こちらで一旦整理させていただくが、特に視点の部

分であるため、もし今後何かお気づきの点があれば事務局の方にお伝えいただきたい。

協議事項の「西東京市地域公共交通計画の施策について」については一旦ここで終了をさせていただく。

その他 (1) 令和6年度 西東京市地域公共交通会議スケジュール (予定)

○会 長： その他事項「令和6年度 西東京市地域公共交通会議スケジュール (予定)」の説明を事務局へ求める。

○事務局： 資料4の説明。

その他 (2) 各委員より

○会 長： 委員の皆様からのこの場で伝えたいことがあれば発言願いたい。

○委 員： 西武バスの全地域の路線バスについて、本年4月の第2週の土曜日から、土曜日ダイヤを日・祝日ダイヤとして運行させていただいており、ご利用の皆さまに大変ご迷惑をおかけして申し訳なかった。4月から自動車運転者の労働時間等の改善のための基準について変更があり、運転士が働いている時間帯と翌日までの勤務のインターバルを変えることとなった。対応するために2、3年間で準備を進めてきたが、本年4月の段階では状況が厳しい中で、やむなく臨時的に土曜日を日・祝日ダイヤとすることで対応した。今後も対応を検討している。

8月1日から一部の便でダイヤ改正を伴いながらにはなるが、8月の第1週から土曜日ダイヤを設定し、平日、土曜、日・祝日という3種類のダイヤで運行させていただく。

埼玉の話ではあるが、近隣の大手の事業者でもコミュニティバスの受注が厳しく、各自治体に運行のボリュームダウン等を要請していることや、今後コミュニティバスは受けられないという話も聞いている。今後もバスの運行環境は厳しさが続くと思う。ご理解とご協力をお願いしたい。

○会 長： 以上をもって令和6年度第2回西東京市地域公共交通会議を閉会する。

以上